Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2019▸2020

ロータリーは
世界をつなぐ

冬の釧路湿原

Vol.06 ガバナー月信
2019.12.1

Rotary

―― 地区活動方針 ――

「知らずて語れず！」

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
地区大会を終えて …… 2
ローターアクターの次年度地区研修行事への参加について …… 3
ＲＬＩとは …… 4
千種会について …… 6
ガバナー公式訪問同行記 …… 8
「絆inモンゴル」に参加して …… 10
米山奨学生レポート …… 11
ハイライトよねやま …… 12
コーディネーターＮＥＷＳ …… 14
新入会員・寄付者・物故会員者 …… 15
例会出席率及び会員数推移

ガバナーメッセージ

2019−2020年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉　田　潤　司
（釧路ロータリークラブ）

公式訪問、地区大会と大きな行事が終わりました。会長幹事をはじめクラブの皆様大変ありがとうございました。私はこの４ヶ月全力で走ってきましたが、振り返りますと『少しも周りを見る余裕がありませんでした』というのが偽らざる本心です。

公式訪問でも、地区大会でもその他の会合式典でも、口に出すのは会員増強でした。

会員増強はガバナーの最大の仕事です。地区が、クラブが活性化しなければロータリーの未来はないとＲＩマイク・ダニエル・マローニー会長はＲＩ方針の中で掲げられました。

大きな行事も終わり、少し腰を落ち着けてクラブの現状を見つめる時期かもしれません。

大きな行事が続いたこともあり、会員増強への取り組みもあまり進んでないクラブもたくさんあると思いますが、今こそ改めて増強行動を起こす時期ではないでしょうか。

増強計画を順調に進めているクラブも、あまり進んでいないクラブも、まだまだ時間がたくさんあります。必要なのは、増強計画を再度見直し、期限を決めて行動することです。

職業分類表は出来上がりましたでしょうか。潜在的な会員リストは出来上がりましたでしょうか。ここまでできればあとは勧誘するだけです。OKとWait Noでは、OKしてもらえることが圧倒的に少ないことを理解し、Wait、Noと言われてもめげないことです。

悲壮感を持つことはありません。ロータリーが素晴らしいことは、外の人にはわかりません。誇りと熱意を忘れてはいけません。可能性のある人を見逃しているだけです。

合言葉は、（ちょっとかっこよく）「Continue without giving up！」です。

さて皆さん地区大会はいかがでしたか？皆様には楽しんでいただけたでしょうか？

地区大会の目的は、ロータリーの最新の情報を聞き、記憶に残る講演を聞き、懇親会で交流を深めることとあります。果たしてそうであったのか、自問自答しております。

私の個人的な反省は、あまりにも家族特にご婦人の参加が少なかったことでした。

私の所属する釧路クラブは、会員が多く実行委員会も委員会構成では、人数が足りないという苦労はなく会員みんなが各委員会に配属され、寝食も忘れるくらい大会成功のために活動していただいたことにガバナーとして感謝と頭の下がる思いですが、会員が自分の委員会を完璧にやろうとし、すべてを会員の役割の中でやろうとした結果、ご婦人の参加を見落としていたようでした。マローニＲＩ会長はロータリーに家族を参加させよう。家族にロータリーを理解してもらおう。ロータリーと家族・家庭を両立させようと方針で述べられましたことに、ガバナーである私が地区大会で気が付いていなかったことは本当に残念であり皆様にお詫びしなければなりません。

ご参加いただいた多くの方が、少しでも満足していただいたのであれば、今回の地区大会は成功したと思いたいです。これからも機会を見つけ皆様のクラブに訪問します。

2500地区が、「きらりと輝（ひか）る地区」になりますよう皆で頑張りましょう。

地区大会を終えて

地区大会実行委員会
委員長 **青 田 敏 治**
（釧路ロータリークラブ）

10月11日、12日釧路ロータリークラブとしては、17年振りに吉田潤司ガバナーを輩出して、2500地区地区大会を開催しました。

例年行われてきた地区大会の見直しをして、今迄にないようなプログラム作りをする事になりました。

実行委員会を立ち上げ、特に大会２日目について委員各自が今迄の地区大会で、気になっている事を出して、その中から４点に絞りました。

1　遠方の会員が参加しやすい様にするにはどうしたら良いか。
2　時間帯によって会場の空席が目立つのをどうするか。
3　早朝から夕方まで長時間に渡り、会員を拘束しすぎではないだろうか。
4　懇親会会場で早退する会員が多いのをどうするか。

以上の事をふまえて変更ポイントとして３点上げました。

1　会員が参加しやすいプログラム。
　大会２日目の登録時間を昼からとした。
2　全ての会員に記念講演を聞いていただきたい。
　大会２日目のスケジュールを３時間短縮できた。
3　懇親会を楽しんで頂きたい。
　会場をいす席にする。

記念講演「ポリオ根絶！」尾身講師

今回の方式は、ともすればマンネリ化しつつある地区大会を、違う形にしたいと云う思いと、今後参考になる部分があれば良いかなと思っている事です。

私どもロータリアンにとってポリオ撲滅は長年の願いですが、講師の尾身茂先生は、人生をかけて西太平洋地域におけるポリオ根絶を達成した方です、又全ての会員に記念講演を聞いていただくとの思いでプログラム内容を変更しましたが、クラブ紹介の後大多数の会員が席を立って空席が目だった事です、これについては残念であり反省材料として残りました。

記念大懇親会では、例年早退する会員が目立つのを懸念していたのですが、今回はいす席ということもあり終了まで大多数の会員が残っており、大きな輪になり手に手つないでを合唱したのは壮観でした。

楽しみにしていた炉端コーナーは、期待どおりの人気でわずか10分ほどで売り切れになりました。

2500地区で初めて行われるスケジュールで、地域性を考慮したプログラム内容になったと思っています。

手に手つないで

釧路ロータリークラブ総勢100名の会員が、それぞれの担当を熱心に取り組んで行動してくれた事が、クラブ内の協調に繋げることが出来たのが一番嬉しかったことです。

地区大会を終えて実行委員長としての感想は、素晴らしく大変よく出来たと思っています。

2500地区67の各クラブ会員の皆さんに、参加してくれたことに対し感謝致します。

ローターアクターの次年度地区研修行事への参加について

国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉田潤司
（釧路ロータリークラブ）

2019年10月発行のロータリー章典の該当部分を紹介させていただきます。

PETSの実施時期（20.070.5.）

PETSは少なくとも１日半のセミナーとし、２月か３月中に開催すべきである。

地区は、必要に応じて会長エレクト研修セミナー（PETS）およびクラブ役員研修に付随して、ローターアクトクラブ（RAC）会長エレクトの研修を実施するよう奨励されている。（2018年１月理事会会合、決定103号）。

地区チーム研修セミナーの参加者（20.080.2.）

地区チーム研修セミナーの参加者には、地区ローターアクト代表を含む、次期ロータリー年度にガバナー補佐としてガバナーエレクトにより任命された者、地区委員会委員長および委員を含むものとする。（2018年１月理事会会合、決定103号）（引用終わり）

理事会の決定を受けて、2019年１月17日国際協議会でジョン・ヒューコ事務総長は「革新性と柔軟性」をテーマに講演をしたことを思い出します。事務総長はスピーチの一部を紹介しましょう。

「ロータリーの成長を呼ぶような変化をもたらす方法は３つあります。第一に、変化を望む既存クラブで革新性を発揮して、成長をめざすこと。第二に、新しい今までとは異なるクラブをつくって、成長をめざすこと。そして、ローターアクターを取り入れる、つまり、ローターアクターを優れたパートナーおよび人材として待遇し、成長をめざすこと。」（引用終わり）

ロータリーの成長にはローターアクターの成長が必須だと訴えたのです。

そして、４月の規定審議会で正式にローターアクトクラブがRIに加盟することが採択されました。私はRACのRI加盟が正式決定するまで地区研修行事のRAC参加を保留していました。しかし、加盟決定を受けて松田ガバナーエレクトと協議の結果、次期RAC会長を来年３月開催予定のPETSに参加要請することを合意しました。

そこで、RACの提唱ロータリークラブ会長にご理解をいただきたいことがあります。それは、地区研修の参加費用のご負担をお願いすることです。

以下にご負担をいただく根拠としてロータリー章典からの抜粋を紹介させていただきます。よろしくご高配の上、ご検討をいただくことをお願い申し上げます。

提唱ロータリークラブによるローターアクトクラブリーダーの支援（9.010.3.）

一つ以上のローターアクトクラブを提唱するロータリークラブは、ローターアクトクラブの役員、理事、委員長があらゆる関連した、出席する必要がある地区レベルの研修に参加するために毎年予算の適切な配分を割り当てることが奨励されている（2018年１月理事会会合、決定103号）。

ＲＬＩとは

RLI導入準備委員会
委員長 葭 本 正 美
（パストガバナー）
（釧路ベイロータリークラブ）

＊RLIの理念

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は質の高いリーダーシップの研修を通じてクラブの活性化を願う草の根の活動です。
RIの正式プログラムではありません。
他地区合同プログラムでも良いです。

＊RLIセミナーの特徴

RLIの研修は、従来の講義を聴くスタイルではなく、決められたテーマについて、皆で意見を自由に出し合って討議する形式です。
（１セッション50分×６時限×３回）

＊なぜ「ロータリー研修」か？

「ロータリー研修」によって、ロータリーを理解し活動意欲の高い会員が増えれば、クラブが元気になり、会員増強にもつながっていきます。

＊RLIの目的は、クラブの特定のリーダーを養成することではないのです。

会員の一人ひとりのリーダーシップ（指導力）を育むことでクラブを元気にすることです。

＊ディスカッションリーダー（DL）の役割

ディスカッションは７～８名のグループで行なわれます。
DLが中心となり、テーマに従いディスカッションをします。
DLは一方的にレクチャーする講師ではなく、創出することとアイディアの交換のための進行役であり、皆さんから広い意見を汲み出します。ファシリテーターは討論などの進行役、まとめ役であり、自分の意見を発言したり、押しつけはしません。
ディスカッションリーダーの問いには「正解」がないことが多いです。
参加ロータリアンは自分で調べ、自分なりの見解を持ってもかまいません。
短い時間のなかで、多様な答えが考えられます。

DLの役割は、参加者全員に発表を求め、多様な意見を聞き出し、参加者の気づきを促し、ロータリーに対する意欲関心を高める事を促します。

＊討議（ディスカッション）のルール
＜参加者の心構え＞
① 自由に討論に参加
② 注意深く聞く
③ 経験を自由に語り合う
④ 本題から離れないように注意
⑤ 他人の発言に対して寛容に
⑥ 自分と違った視点に感謝
⑦ 発言は短く、的確に行なう
⑧ 楽しく議論

他のクラブのロータリアンとロータリーの話しをするのは楽しいです。
自分のクラブとは違った活動、考えに触れて色々気付かされます。
この気付きにより、ロータリー活動に幅が出来、よりロータリーが楽しくなると思います。
皆様がRLIのご理解と参加をお願いします。
DLになっていただくことを切に希望します。
これから模擬RLIから初めて、本格的RLIを開催したいと思います。
宜しくお願いします。

模擬RLIについて

模擬RLIを下記の日程で行います。
２日間のRLI出席でRLIの資格を得て、DL（ディスカッションリーダー）になっていただきます。
今回は１日、６セッション、１セッション30分で行います（本来は１セッション50分）。２日で18セッションを行います。
講師に本田PDG（群馬、元RI国際協議会DL,RLI副委員長）、酒井PDG（RI2510地区）に講師、DLになっていただき、模擬RLIを行います。この機会にRLIのご理解と、DLになっていただきたいと思います。

日　時：2020年２月23日（日曜）、24日（祝日）
場　所：かでる２・７道民活動センタービル
　　060-0002　札幌市中央区北２条西７丁目
　　TEL　011－204－5100
時　間：２月23日（日曜）9：00　受付～5：30
　　２月24日（祝日）9：00～13：00
会　費：5,000円
懇親会：希望者

あなたは、千種会を知っていますか？

千種会について

山　市　喜　雅
（紋別港ロータリークラブ）

ロータリーに入会する２年前の1998年（平成10年）、弊社の社長にオホーツク千種会に同席するようにということで、何がなにやら分からないまま聴講したのがきっかけです。当時、中央大学名誉教授の小堀憲助先生（2017年６月９日、ご逝去）が講師で、その時は「ロータリー発生史」について講義していただいたことを思い出しました。午後２時から午後６時と翌日午前９時から11時までの合計６時間を時には眠気を覚ましていただくため小堀節といわれるスタイルで脇道にそらせたりしながら楽しく講義を聴かせていただきました。その後も年に１、２回のペースで聴講したと思います。

小堀憲助先生

さて、この千種会とは、昭和45年当時、日本国内のロータリークラブの総数が約1,000クラブあった。そのロータリークラブにロータリーの基礎理論を「体系的に」理解できる「良質なロータリアン」を、各クラブの中に、最低獲得養成したいという願望を以て、全国約50名の同志で昭和46年に創立されました。

創立当初は、全国の主な都市の千種会のリーダーが講師を担当しておりましたが、全ロータリーの原理・原則を体系的に把握し講義できる方は、小堀憲助先生しかいないということでご指名を受け、以来各地の千種会での講師をするようになりました。
その他にも全国各地の主要都市で、全国大会が催されました。

平成16年当時の入会のご案内の一文を見つけたので、ここに紹介いたします。

『千種会は、一業種・一会員制と定例例会出席を基本とするロータリーの理念発生の歴史的必然性を学び、その偉大さを理解して、自己啓発と人生観の一層の向上を求めようとするものです。ロータリーの原理を理解しようとする人にとって千種会で勉強することが最善の方策です。20世紀の企業家の大いなる思想的資産としてのロータリーの理念は、千種会によって守られているといっても過言でないと自負しております。千種会への入会をお待ち致しております。』
となっておりました。

さらに、平成16、17年頃の学事日程表という資料も見つけました。この頃は、千種会は、東京、関西、四国、福岡での講義で講師には、小堀先生と深川純一先生（伊丹RC、2019年１月ご逝去）の二人で担当をなされておりました。

カリキュラムは、「ロータリー思想体系」というテキストをもとに歴史篇の「ロータリー発生史」「日本ロータリー史」、理論篇の「ロータリー思想の理論構造」「定款細則論Ⅰ（RCの組織管理理論）」「定款細則論Ⅱ（RIの組織管理論）」、実践篇の「社会奉仕論（含クラブ奉仕）」「国際奉仕論」「職業奉仕論」の８回（平成４年に改訂）の講義が進められておりました。

また、1989年には、有志を募り、総勢25名にてアメリカのシェルドンが眠っている墓地を管理しているニューヨーク州キングストン・クラブを訪れ、シェルドンのロータリー思想やガイガンディガーの思想と、わが国のロータリー始祖とも言うべき米山梅吉氏の思想と直木太一郎氏の論説を小堀先生が英文にてスピーチを行い、また墓地に花をたむけると同時に、シェルドンが1930年にシカゴクラブを退会するに到った推論を述べたと記録に残っております。

その翌年（1990年）に、小堀先生の北軽井沢の別荘に、シェルドンの原文の趣旨石碑であるシェルドン顕彰碑を建立しました。現在そのシェルドン碑は、米山梅吉記念館の敷地の一角に移設されました。

千種会の会員の多くは、良質なロータリアンとなりパストガバナーや理事として輩出し、現在もご活躍されているロータリアンが大勢おります。

もう一つ、小堀先生の功績とでもいいますか、沢山の著書を世に出しております。「ロータリークラブ　その理論と実態と批判」、「ロータリー発生史」、「ロータリーの原点」、「奉仕の心」、「ロータリー運動とは」、「ロータリー哲学（アーサー・F・シェルドン著、小堀憲助訳）」、「ガイ・ガンディカー著『ロータリー通解』（翻訳と解説）」、「ロータリーの栄光を求めて」などロータリー文庫にも登録されていると思います。ぜひ読んでいただけたらなぁと思います。

最後に、弊社で先生の著書を印刷発行しておりました縁がございまして、原版が弊社にあるものですから現在以下の冊子を復刻いたしました。

【補足】

ガイ・ガンディカー著「ロータリー通解」（小堀憲助訳と並びに解説）です。

初期ロータリーのバイブルといわれる「ロータリー通解」はロータリー理論、ロータリー全般を集大成したかたちで書き上げられていて、ロータリーの理論研究家であった小堀憲助先生が見事に美しい日本語に訳され、さらにその解説がまた素晴らしく名訳・名著と言われております。この本は日本の多くのロータリアンがこれを読み啓発され、真のロータリアンに変容していったと言われるものです。再版として平成元年９月８日に発行後、絶版となっておりましたが、版元の弊社から復刻することといたしました。

「ロータリー通解」復刻版
注文先のご案内

いい〜もん・ショップ（https://e-mom.shop/?pid=145089718）で注文できます。

決済は、カード、コンビニ、銀行振込が可能です。

●注文問い合わせはこちら

㈱ソーゴー
〒094-0011　紋別市港町２－31
電話 0158-24-2625　FAX 0158-23-2622

ガバナー公式訪問同行記

各クラブを訪問して

第１分区ガバナー補佐
山　本　義　憲
（利尻ロータリークラブ）

９月２日から６日までの５日間にわたり、第１分区各クラブのガバナー公式訪問に同行をさせていただきました。

それぞれのクラブが特徴のある活動を行っていることに感心するとともに、改めて色々な活動方法があることを実感することができました。

１日目の豊富ロータリークラブの訪問は宗谷地方では珍しい大変暑い日でした。豊富町は牛乳と温泉の町として有名ですが、近年はアトピー性皮膚炎等の温泉治療のため、移住者が増加傾向にあります。クラブでは町長はもとより移住者の皆さんにも例会でのスピーチをお願いしており、クラブ会員が真剣に「まちづくり」の勉強をしていることに感心しました。

夜は稚内南ロータリークラブの訪問です。稚内南ロータリークラブは第１分区内で最も会員数が多く、地域にロータリーの精神を広げる努力や会員相互の親睦をとても大事にしているクラブです。夜間例会後の懇親会では貝森幹事のカラオケや明田会員の踊りで大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごすことができました。

２日目は朝のフェリーで利尻島へ渡り、利尻島ロータリークラブを訪問しました。会員12名のクラブですが、町長から「地域に貢献しているロータリーの存在は大きい」との力強い言葉を聞くこともできました。

夜は私の所属する利尻ロータリークラブの訪問です。平均年齢59歳の若さが売りのクラブですが、堤会長を中心にまとまりがあり、多様な活動を展開しています。夜間例会後にはガバナー一行を囲んでの家族親睦浴衣パーティーが行われ、楽しい時間を過ごすことができました。

３日目は利尻島から礼文島へとフェリーで移動し、礼文ロータリークラブの訪問です。港では松田会長や会員の温かい出迎えに感激しました。現在15名の会員を増やすため、クラブ全員が努力するとともに、練られた年間計画に沿った活動を積極的に行っていることが感じられました。昼食の最北の海の幸をふんだんに使った特製弁当は最高でした。（美味しかった！）

４日目は稚内ロータリークラブの訪問です。私の所属する利尻ロータリークラブのスポンサークラブであり、普段から大変お世話になっています。第１分区のリーダークラブとして地域に根差した様々な活動を展開しています。

最終日である５日目は天塩ロータリークラブの訪問です。会員数９名のうち女性会員が２名おり、地域のために多くの活動を率先して行っています。特にロータリークラブ旗争奪少年野球大会を開催していることが勉強になりました。

この度、ガバナー公式訪問に同行させていただきましたが、皆様から温かく迎えてくださり心から感謝いたします。また、どのクラブも地域に根差した活動を展開しており、ロータリーの精神を地域に広めようと努力している姿勢を肌で感じることができました。

最後に、私は慣れていますが、吉田潤司ガバナーをはじめ随行された西村智久地区大会実行幹事、濱谷美津男副幹事の皆さんはフェリーに３回も乗船したので大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。

ありがとうございました。

ガバナー公式訪問同行記

第５分区公式訪問ガイド

第５分区ガバナー補佐
木　谷　　実
（留辺蘂ロータリークラブ）

雪がちらつく今日この頃、振り返ると公式訪問で歩いた、あの夏の暑い日々が妙に懐かしく思い出されます。

第５分区の公式訪問の日程は、７月・８月・９月と３ヵ月に渡って組まれました。８つの分区のうちでも長い期間、関わるスケジュールとなります。本年度は７月10日の帯広ロータリークラブを皮切りに、10月３日の釧路ロータリークラブで打ち上げとなります。正味３ヵ月の間に67クラブを巡る、考えただけで疲れる長いロードです。

吉田ガバナーの配慮で今年はクラブ訪問中に、補佐にも例会内で話しをする時間を持つこととなりました。

当然のことですが、ガバナー公式訪問の前に、補佐として各クラブに御挨拶に伺いながら、そのクラブの特色や歴史と伝統、また雰囲気等を押さえておこうと思い段取りを組んでみると、これがとても大変でした。

第５分区では木曜日に４つのクラブが例会を行います。あと水曜２クラブ、火曜２クラブ、金曜が１つとなっています。７月のスタート月に５クラブの訪問予定がありますので、時間的な余裕はまったくありません。公式訪問が初めての顔出しになるのは嫌なので、「また来ました」という感じを持ちたいゆえに直前の例会におじゃまするパターンがほとんどになってしまいました。

とは言え、３月に第４分区と合同で開催した会長・幹事懇談会で各クラブの会長さん幹事さんと顔合わせをしていましたので、事前にスムーズに連絡を取り合い、訪問することが可能でした。

７月23日、美幌ロータリークラブから始まったのですが、いよいよ本番ということで心地よい緊張感を味わいながら、どことなく体も口も固かったような気がしました。

小形会長にも励まされながら初陣を乗り切ることができました。

ガバナーはここ（美幌）で13ヶ所目ということで、ちょうど肩が暖まっていて絶好調です。このあとも、ＲＩマローニー会長のメッセージを伝え、会員拡大を訴え続けてまいります。網走ロータリークラブでは、私が日頃教えを請うている成瀬パストガバナー、そして本間直前ガバナー補佐が目の前に座っていてホントに緊張してしまいました。女性会員が８名と地区一番ですので雰囲気がとても柔らかいクラブです。山田会長がうらやましい。北見ロータリークラブ、北見東ロータリークラブ、北見西ロータリークラブは普段から北見市内４クラブとしてお付き合いをさせてもらっているので、改まって伺うと面映ゆい気持ちがします。北見の長屋会長、東の門脇会長、西の服部会長、それぞれの強い個性を出しながら伝統的にまとまりのいい仲の良さがあります。北見西を訪れた７月25日、吉田ガバナーは76回目の誕生日を迎えられ、北見３クラブから花束を贈られました。50周年に向け熱気溢れる清里ロータリークラブはベテランと若手のバランスがとても良く畠山会長も意欲的です。網走西ロータリークラブは城戸会長の個性のように、質実剛健、男気溢れた海の街のクラブです。会長より熱心に二次会を誘われましたが、ガバナーも４泊５日で疲れもピークとなったのか固持されておりました。

９月13日、天気は快晴。５分区の最後に斜里ロータリークラブに伺いました。斜里は人口、産業ともキャパがあり会員拡大には分区で一番の伸びしろがあるクラブです。

藤枝会長の優しさもそこに裏うちされた余裕なのかもしれません。ゆえにガバナーはもっと拡大をとクラブに期待感を仰って、分区内を巡り終えました。

米山学友 第2回世界大会「絆inモンゴル」に参加して

モンゴルと日本の懸け橋

米山記念奨学会運営委員会
副委員長 石 平 清 美
（富良野ロータリークラブ）

「絆inモンゴル」はジャンチブ・ガルバドラッハ実行委員長のもと、総勢600名のゲストやメンバーが集いました。バトゲレル会長の日本語の挨拶で始まり、大盛況でした。

モンゴルでは、北海道で学んだ学友３名と出会い、大きな絆に繋がったことをご報告いたします。わたくしは富良野でホテルを経営しております。日本語学校の学生の夏休みに、インターンシップを受入れ「日本のおもてなし」を研修しています。今年はモンゴルからの18歳のミシェールとタイからの２名でした。ミシェールは日本の美術大学を目指し日本語を学んでいます。

彼女は、朝と昼の研修後、近所のお寿司屋さんのアルバイトを３日間しました。

お店のご主人が、なぜモンゴルの子が、富良野にいて、研修中にバイトできるか心配になり、相談に来ました。私は彼女に、日本のルールを説明しました。会社は日本語学校と、学生の安全を契約していること。３人で一緒にインターンシップをしているのですから、自分だけではなく、情報は共有すべきこと、バイトをするにも履歴書など身元確認の書類を提出する事を教えました。今回は相談の上、夜はお寿司屋さんでバイトし、地域交流としました。

私は、モンゴルで出会った３名の学友に、「18歳で、日本で学んでいるモンゴルの彼女にエールを送って下さい」と連絡しました。バットさんは「努力をすればキット報われますので頑張って日本人の３倍、４倍努力して下さい。あなたならできるよ。」。アマルトブシンさんは「ミシェールさんは日本の美術大学で勉強したいそうですね。勉強は努力すれば必ず結果がついて来るよ。夢に向かって進め！応援します。」。ソブドマさんは「頑張っていますね。モンゴルと日本の懸け橋になるためにもっと頑張って下さい。」

３人の先輩のメッセージを読んだ彼女は大粒の涙を流しました。今までは自分だけの世界を考えていたが、バックヤードにはモンゴルがあり、将来は日本との懸け橋になる目標が出来ました。これから日本で頑張る彼女に、心強い応援でした。ミシェールも大学生になり、米山奨学生の応募を目標にするそうです。

米山学友の皆さんは自国のバックヤードを理解し、日本で努力をし、現在の活躍があります。そして「モンゴルと日本の素晴らしい懸け橋」になっています。

米山奨学生レポート

十勝大好き！雪と寒さも良いね！

ＡＰ ユヘンドラ
（インドネシア／帯広ロータリークラブ：帯広畜産大学）

私は日本に１年間住んでいて、とても幸せでいつも楽しんでいました。

冬を感じることができるのは初めてです。私は本当に雪と寒さが好きです。帯広では、気温は－24℃になる可能性があるため、難しくはありませんが、刺激的です。

私はイスラム教徒ですが、帯広やオンラインショッピングでは毎日料理やハラールの食材を見つけるのが簡単なので、食べ物に問題はありませんが、日本でこの生活を送るのに困難はありませんでした。

日本では、帯広は十勝国際交流センターまたは帯広ロータリークラブ自身が主催する多くの活動に参加しました。たとえば、浴衣や他の外国人は、平原盆踊りなど、市内で踊りました。帯広では、北海道の勝舞十勝川で最も美しい花火をお見逃しなく。北海道、特に帯広はとても美しい地域で、美瑛、富良野、旭川などの美しい景色のある地域をいくつか訪れました。

９月24～25日に帯広神社で開催される秋祭りに参加します。これは日本で宗教儀式を目撃した最初の経験です。祭り、忍者、武士、アイヌの人々について知りたいです。私は本当に彼女の剣でサムライの衣装を試してみたいです。私のアドバイザーから本当に知りたいのは、日本王国と富士山の物語です。

平原盆踊り

ナシゴレン
（焼き飯料理）

四季彩の丘 美瑛

十勝川花火大会

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.236
2019年11月12日
発行

1. 2020学年度奨学金申込み状況

2020学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校558校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度540校）から1,402人（1,384人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国53.1%（51.0%）、ベトナム10.8%（13.3%）、韓国8.5%（9.3%）、台湾3.6%（3.3%）、次いでマレーシア、インドネシア、ネパールの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程21.5%（21.2%）、修士課程36.2%（37.9%）、学部課程 40.0%（38.7%）と、昨年度に続いて学部課程が、従来の傾向では最も多かった修士課程を上回っています。大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7地区14校から計33人の応募がありました。

2. 米山イベント満載の地区大会 ― 第2800地区 ―

10月19・20日、第2800地区（山形県）の地区大会は、米山奨学生・学友が活躍するシーン満載の地区大会でした。

1日目夜は、米山奨学生・学友・ロータリアンが集まる「米山ナイト」を開くのが同地区の恒例行事です。今年は、中国から招へいした米山学友の姫 軍さん（1995-97／東京臨海ＲＣ）ご夫妻を迎え、50人が参加する盛会となりました。はるばる韓国、東京からも、同地区出身の学友が駆けつけ再会の時を楽しみました。

大会2日目は、ベナン出身の米山学友、マリエッタさん（2017-19／鶴岡ＲＣ）の君が代独唱からスタート。本会議プログラムと併行し開かれた、米山奨学生・学友、インターアクト・ローターアクト・青少年交換学生が一堂に会する「青少年交流会」では、多様な国籍や年代が一緒になってグループディスカッションが行われました。

大会のハイライトとなる記念講演には、米山学友の姫 軍さんが登壇。「心つないで、世界に」をテーマに、つながりから離れよう、自国のみを守ろうとする世界的潮流の中で、“つながる”ことの意味は何か、“心をつなぐ”とはどのような事なのか――。心に訴えかける姫さんの語りに、会場は静まり返って聞き入りました。

3. 寄付金速報 ― 米山月間のご支援に感謝 ―

10月までの寄付金は、前年同期と比べて1.11%減（普通寄付金:0.01%減、特別寄付金:1.92%減）、約600万円の減少となりました。9月には寄付累計額がいったん増額に転じましたが、10月単月の寄付が昨年度より少なく、再び前年度比マイナスとなりました。一方で、「米山月間」である10月には、学友からも計45万円のご寄付をいただきました。米山学友も含め、多くの方々からのご寄付に厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。今後とも引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 海外学友会の海岸清掃活動

タイ米山学友会、マレーシア米山学友会がそれぞれ、11 月最初の週末に海岸清掃活動を行いました。たまたま同時期に重なったものですが、奉仕の精神を学んだ米山学友会ならではの、国を超えた一体感が感じられます。

【タイ】

環境保護活動に力を入れるタイ学友会では、海岸清掃は恒例の奉仕活動。今回は初めて、世界的な観光地であるパタヤビーチで行いました。11 月 2・3 日の各 1 時間、学友と家族 12 人が汗だくになって海岸のゴミを拾う姿に、観光客から「一緒にやりたい」と声をかけられたり、地元の人から賞賛される場面もあったそうです。「私たちの活動を見て、ビーチに遊びに来る人がゴミを捨てなくなったら大変嬉しい」と、幹事のワシン・テイシャシャイニランさんは話しています。

【マレーシア】

マレーシア学友会も、11 月 3 日にペナンの人気商業エリアにある Karpal Singh Drive 沿いの海岸清掃を行いました。同地域での活動は、8 月に次いで 2 度目の実施で、地元ペナンだけでなく、クアラルンプールからも学友と家族が集まり、20 人以上が参加しました。「共に活動して親睦を深めただけでなく、環境破壊の深刻さを痛感し、会員一同、次の世代に住める地球を残す責任と環境教育の重要性を実感しました。今後、地元のロータリークラブなどともコラボして、活動を広げていきたい」と、会長の黄麗容さんは語ります。前回に続き、今回の活動も、地元紙に大きく掲載されました。

5. 台風被災地でボランティア

マレーシア出身の米山学友、叶（ヤップ） 志恩（チーエン）さん（2011-13／有田南ＲＣ）が 10 月 26 日、台風や豪雨で甚大な被害を受けた千葉県君津市でボランティア活動をしました。ボランティアセンターに集まった他の登録者と協力し、高齢ご夫妻の自宅物置から、水に浸かった家財を含め、1,000 冊以上にのぼる書籍や家具を取り出し、解体し、土嚢袋に詰める作業を行いました。その数は軽トラック 5 台分もになったとのことです。

ヤップさんは 3 年前の熊本大地震の際も、現地に赴いて 1 週間ボランティア活動をし、熊本東ＲＣの例会で報告をしました。ヤップさんの気持ちと行動力は、被災した方々の大きな力となったことと思います。心から感謝申し上げます。

【ヤップさんからのコメント】 奨学生時代、第 2640 地区のロータリアンとともに和歌山県南部の台風被災地へボランティアに行った経験が今でもずっと心に残っています。同じ国、同じ地球に住んでいて、自分はどれほど恵まれているか、気付くことができました。たくさん行動して Give and take and happy and give というサイクルを回していきたいですし、行動してくれる学友が増えるよう願っています。

海外米山学友会総会のご案内

◆中国（上海）◆ 2020 年 1 月 11 日（土）16:30～20:30 予定／会場：後日決定　◆マレーシア◆ 2020 年 2 月 16 日（日）14:00～17:00／会場：YMCA KL　◆タイ◆ 2020 年 2 月 22 日（土）17:00～18:00 総会 18:30～ ディナー／会場：S31 Hotel　◆ミャンマー◆ 2020 年 3 月 21 日（土）16:30～19:30／会場：Sein Lan So Pyay Garden

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2019年12月号
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

新会員に対する早期のロータリー哲学教育の重要性

本ARCを2年半経験しての感想を述べる。
グローバルなロータリー活動では、会員増強、財団への寄付、6つの分野への国際社会奉仕などに重点が置かれており、国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体であると公言している。しかし、これらを実行するのは草の根のロータリアンである。
私の属している2700地区や会員増強セミナーで基調講演をした2720地区で、①ロータリーは奉仕団体である ②ロータリーは異業種交流の親睦団体である ③ロータリーは親睦と奉仕の二本立の団体であるとの三択問題を質問すると、①に手を挙げる人は皆無、②はパラパラ、③が圧倒的に多数である。しかも親睦と奉仕の関係は、「例会なくして親睦なし 親睦なくして奉仕なし」と考えている人がかなり多い。とすると、2700地区や2720地区の草の根のロータリアンとグローバルなロータリーではロータリー哲学の認識に食い違いがある。
この点に関しては古くから問題が指摘されている。アーチ・C・クランフ（第六代会長）。ロータリークラブの側にも、また、余りにも多くの個人ロータリアンの側にも、ロータリーとその目的、その目標、その理想について、明らかに認識不足がある。現在の管理当局はこの問題に真剣に取り組んだ結果、啓蒙運動として何らかの手段を講ずることが最も肝要だと考えた。この問題のすべては主としてクラブ会長の手にあるのだ。国際理事会がいかに努力しようとも、クラブ会長が有益な提案を実行しないならば、すべては徒労に帰すのだ。（ロータリー・モザイク ハロルド・トーマス著 松本兼二郎訳 59ページ）
そして、クラブの新会員が時を経てその重要なクラブ会長になり、その会長がまた時を経てガバナーになり、さらにARCのような中間管理職になる。もし、新会員にロータリー哲学の正しい初期教育が施されずに、「例会や飲み会に出席しておればそのうちに分かるよ」と放置され、例えば、例会出席、親睦、職業奉仕がロータリーの本質であるかのような刷り込みがなされたとすると、その後のPETSやGETS、あるいは国際協議会などの短期の研修会がいかに優れたものであっても、初期の刷り込みを打ち消すことはなかなか困難で、研修会での貴重な話が馬耳東風に聞き流されるのではないかと思うが如何であろうか。
「ロータリーの哲学などがきちんと理解されて、運動が続いていかない限り、しまいには単なる人の集まりに陥ってしまうのではないかと思います（ロータリーの友2019年10月 号横組み32ページ）」また、これは初期教育のさらに前の段階の話になるが、「奉仕活動に興味のある人を誘うことが重要である」（ロータリーの友2019年8月 号横組み16ページ）

第3地域ロータリーコーディネーター補佐　　穴井元昭（博多RC）

日本の極端な出生数出生率の低下・超高齢化の中でロータリーとつながった錯覚のないインスピレーションを受けた幅広い人々のロータリーへの参加

世界でも類を見ない日本の「少子高齢化人口減少社会」の訪れを目の前にした今、ロータリーとのつながりを重視した 、思い込みや錯覚のないインスピレーションを受けた幅広い人々のロータリーへの参加を目指さなければいけません。そこでロータリーは革新柔軟性のある広報によってロータリーのブランディングを高めるために「世界を変える行動人」と言う新しいグローバル広告キャンペーンを立ち上げました。そのキャッチコピーとしてはこれまでの「変えていこう」「力をつなごう」「ポリオをなくそう」「インスピレーションを生み出そう」に加え2019年2月 発表の「導こう」「命を守ろう」「平和な世界を築こう」「学びを深めよう」「食育を支えよう」という言葉を使い、仕掛けにストーリー性をもたして地域や世界でより大きく貢献することによりロータリの公共イメージを向上させようとしています。

最近緊張の中にも笑ってしまい笑ってしまうも生真面目になり生真面目の中にも現実を知りその現実の中にも反省しなければいけない話を聞いてしまいました。 某都市部のクラブ員30～40人クラスのロータリークラブの例会においてその日クラブ内の説明会にRIと言う言葉が頻回に出て来たのですが説明者がアールワンと発言しそれが最後まで続きしかも誰もその発音の間違いに最後まで気がつかなかったと言う内容です。そこのクラブでは年間を通じてガバナー公式訪問や地区大会等に於いて年間2～3回しかRI(アールアイ) と言う言葉を聞くことがないからだとのその方の言い訳説明でした。今ロータリーの現状を分析しますと自分との立場が似ている者同士は内容をよく理解しているものと判断し「会議は踊る」でロータリーの話は進行して行っていますが一方で会員の中にはロータリー活動に無関心な方も多く見られます。関心派を1人でも多く作りみんなでつながりを持っていかなければいけません。最近身の回りであった「ロータリーは世界をつなぐ」の実践例を紹介いたします。2019/8/6～2019/8/14坂出東四国ロータリーサテライトクラブの議長の私と副議長の山野友禎武者小路千家教授及びアシスタント3人で、地区の国際奉仕ファンド(昔のWCS)より補助金をいただいてエチオピア大統領府にあるアフリカ唯一の日本庭園の茶室で茶道具の寄贈及び記念茶会を催すため、アディスアベバに行って参りました。日本庭園は前皇帝でハイレセラシエ1世が1958年に日本の庭園技術に感銘を受けて作ったものです。茶室はあるものの十分な茶道具がないため今回釜や茶碗を含む茶道具を寄贈しました。当日はクラブの副議長である山野武者小路千家教授が亭主役となりエチオピアの政府要人(Teferi Fikre Gossaye副大統領、デラルツツル大統領補佐官 、アフェワーク科学高等教育大臣、オリンピックのマラソンで優勝したメコネンなど)に作法に従って薄茶を差し上げました。この日は日本庭園に多くのテレビ局・新聞社の報道関係の方々が集まってこられしきりにインタビューがおこなわれました。

今回は衛星クラブであっても親クラブと協調して、あるいは単独ででも国際貢献ができることを紹介しました。各地区で参考になれば幸いです。

第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　前田直俊

（坂出東 RC、坂出東四国ロータリーサテライトクラブ）

新入会員の紹介

●第２分区
〔枝幸ロータリークラブ〕
清水 顕志（しみず けんじ）
●保険代理販売業
●昭和42年6月10日生
●令和１年10月１日入会

●第２分区
〔枝幸ロータリークラブ〕
出村 洋介（でむら ようすけ）
●弁護士
●昭和63年２月４日生
●令和１年10月１日入会

●第６分区
〔清水ロータリークラブ〕
池戸 均（いけと ひとし）
●建設業
●昭和56年８月８日生
●令和１年10月１日入会

●第６分区
〔清水ロータリークラブ〕
鎌田 哲弘（かまだ てつひろ）
●運送業
●昭和42年５月19日生
●令和１年10月１日入会

●第６分区
〔帯広北ロータリークラブ〕
阿部 直之（あべ なおゆき）
●建築業
●昭和38年５月11日
●令和１年11月１日入会

●第６分区
〔帯広ロータリークラブ〕
田中 有樹（たなか ゆうき）
●損害保険業
●昭和53年６月12日
●令和１年11月６日入会

●第７分区
〔釧路ベイロータリークラブ〕
鈴木 直人（すずき なおと）
●産業廃棄物収集運搬・清掃業
●昭和51年４月４日生
●令和１年10月29日入会

ロータリー財団寄付者

分区	寄付の種類	氏名	クラブ名	寄付月日
1	ポリオプラス	利尻ロータリークラブ	利尻	10月07日
2	PHF+6	山岸 眞理（やまぎし まこと）	名寄	11月12日
3	ポリオプラス	湯浅 秀昭（ゆあさ ひであき）	Eクラブ	10月26日
3	年次基金	吉本 真澄（よしもと ますみ）	Eクラブ	９月
5	ポリオプラス	清里ロータリークラブ	清里	10月04日
6	MPHF+2	萩原 一利（はぎわら かずとし）	帯広南	10月08日
6	MPHF+4	板倉 利男（いたくら としお）	帯広東	10月17日
6	PHF+1	上野 裕司（うえの ゆうじ）	帯広西	10月17日
6	PHF+2	近藤 誠勝（こんどう まさかつ）	帯広西	10月17日
6	PHF	増井 信也（ますい しんや）	帯広西	10月17日
6	PHF	森 房明（もり ふさあき）	帯広西	10月17日
7	PHF	青木 泰憲（あおき やすのり）	釧路	10月25日
7	PHF	浅野 清貴（あさの きよたか）	釧路	10月25日
7	PHF	芦名 健一（あしな けんいち）	釧路	10月25日
7	PHF	阿部 勝義（あべ まさのり）	釧路	10月25日
7	PHF	池田 いずみ（いけだ）	釧路	10月25日
7	PHF	石鍋 斉（いしなべ ひとし）	釧路	10月25日
7	PHF	片山 昭生（かたやま あきお）	釧路	10月25日
7	PHF	熊谷 任明（くまがい ただあき）	釧路	10月25日
7	PHF	小林 隆志（こばやし たかし）	釧路	10月25日
7	PHF	清水 寧（しみず やすし）	釧路	10月25日
7	PHF	菅原 淳（すがわら じゅん）	釧路	10月25日
7	PHF	杉浦 裕之（すぎうら ひろゆき）	釧路	10月25日
7	PHF	武久 晋治（たけひさ しんじ）	釧路	10月25日

7	PHF	長瀬雅信	釧路	10月25日
7	PHF	萩原国彦	釧路	10月25日
7	PHF	馬場雅嗣	釧路	10月25日
7	PHF	古谷守生	釧路	10月25日
7	PHF	森村好幸	釧路	10月25日
8	ポリオプラス	根室西ロータリークラブ	根室西	10月28日

米山功労者寄付者

分区	氏名	クラブ名	寄付月日	回数
2	吉川博己	名寄	10月17日	1
2	池田幸司	名寄	10月29日	4
2	山岸眞理	名寄	11月12日	8
5	高木壽一	斜里	10月07日	1
5	潮田豊	北見	10月23日	1
5	長屋憲明	北見	10月23日	2
7	清水幸彦	釧路	10月24日	5
7	足立功一	釧路北	10月29日	14
7	坂入信行	釧路北	10月29日	2
7	中嶋嘉昭	釧路北	10月29日	5
7	萩原昭博	釧路北	10月29日	2
7	平井昌弘	釧路北	10月31日	2

物　故　会　員

■第３分区　富良野ロータリークラブ

1978年8月　入会
1982年　クラブ幹事
1989年　会長エレクト
1990年　クラブ会長

日下博行（石油販売）　2019年10月４日逝去（83歳）

■第３分区　旭川東ロータリークラブ

2005年４月　入会
2012年　社会奉仕委員長

宮崎幹雄（農　業）　2019年10月13日逝去（81歳）

■第５分区　留辺蘂ロータリークラブ

1992年７月　入会
2001年　会長
2010年　国際奉仕委員長

鑓水欽三（土　木）　2019年10月20日逝去（82歳）

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2019年10月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2019年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	4	80.0	14	15	1	0
	利尻	3	77.0	18	18	0	0
	利尻島	3	58.3	12	12	0	1
	天塩	2	77.7	8	9	1	2
	豊富	3	100.0	20	19	－1	1
	稚内	3	71.0	46	46	0	2
	稚内南	3	86.3	36	36	0	2
	計		78.6	154	155	1	8
2	美深	3	87.5	25	24	－1	0
	枝幸	4	78.6	23	25	2	0
	名寄	4	85.7	59	61	2	2
	中頓別	3	77.8	16	18	2	0
	士別	3	83.7	48	47	－1	1
	下川	4	70.0	4	5	1	0
	計		80.5	175	180	5	3
3	旭川	4	74.3	69	72	3	0
	旭川東	4	※	34	33	－1	0
	旭川北	4	76.2	41	44	3	1
	旭川南	3	83.8	33	33	0	0
	旭川西	4	81.2	45	48	3	5
	旭川東北	4	※	15	15	0	2
	旭川モーニング	5	※	25	26	1	4
	旭川空港	3	71.6	12	13	1	4
	美瑛	3	68.0	25	25	0	0
	富良野	3	※	46	47	1	3
	上川	3	60.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	94.7	22	20	－2	1
	計		76.2	377	386	9	20
4	遠軽	5	76.4	42	42	0	3
	紋別	4	73.1	31	31	0	0
	紋別港	4	82.8	33	33	0	0
	中湧別	2	90.9	10	11	1	0
	興部	3	69.0	16	16	0	0
	雄武	4	57.6	11	13	2	0
	滝上	2	61.8	17	17	0	2
	計		73.1	160	163	3	5
5	網走	4	84.5	51	51	0	8
	網走西	4	81.3	50	52	2	0
	美幌	4	91.5	58	58	0	4
	北見	4	77.4	57	60	3	4
	北見東	4	81.1	56	57	1	2
	北見西	4	80.5	65	65	0	0
	清里	3	86.2	29	29	0	0
	留辺藥	4	82.3	24	24	0	1
	斜里	4	74.0	37	37	0	4
	計		82.1	427	433	6	23
6	足寄	4	68.5	30	31	1	1
	広尾	3	81.8	22	22	0	0
	上士幌	3	64.1	15	15	0	0
	芽室	2	61.5	22	27	5	1
	帯広	4	72.9	89	91	2	6
	帯広北	4	78.4	63	59	－4	2
	帯広西	4	84.3	74	75	1	3
	帯広東	4	85.2	38	39	1	2
	帯広南	3	71.8	72	72	0	8
	音更	5	67.2	38	36	－2	3
	清水	4	70.8	18	19	1	2
	計		73.3	481	486	5	28
7	釧路	5	88.1	95	100	5	1
	釧路東	4	63.0	33	33	0	0
	釧路北	4	67.5	77	78	1	3
	釧路南	3	64.0	29	30	1	5
	釧路西	3	70.0	28	28	0	1
	釧路ベイ	3	82.1	20	21	1	1
	音別	3	63.0	16	16	0	0
	白糠	4	67.5	10	10	0	0
	計		70.7	308	316	8	11
8	厚岸	3	75.0	16	16	0	0
	別海	3	75.0	17	16	－1	0
	浜中	4	85.0	12	12	0	0
	中標津	3	70.0	21	21	0	1
	根室	4	69.7	38	38	0	0
	根室西	4	92.6	50	54	4	0
	弟子屈	3	67.3	18	18	0	1
	計		76.4	172	175	3	2
総計			76.4	2254	2294	40	100

※印　メーキャップの規約改定により提出のないクラブです

第2500地区	19年7/1会員数	当月末会員数	増減	平均出席率
全67クラブ	2,254人	2,294人	40人	76.4%
女性会員数	100人	100人	0人	

Rotary

http://rid2500.jp

■ガバナー事務所

〒085-0016　北海道釧路市錦町５丁目３
三ツ輪ビル２Ｆ
TEL 0154-61-0018　FAX 0154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

■GOVERNOR OFFICE

MITSUWA BLDG.2F　5-3,Nishiki-cho,Kushiro-shi,
Hokkaido,085-0016, Japan
TEL +81-154-61-0018　FAX +81-154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

湿原の生き物（エゾフクロウ）

国際ロータリー第 2500 地区
２０１９▶２０２０　ガバナー

吉 田　潤 司